

高付加価値の旅行商品造成に 必要な視点

「アフターコロナ時代における地域活性化と観光産業に関する検討会」旅行WG

2021年12月8日 株式会社風の旅行社 原 優二

旅行商品の類型

- 手配旅行 → 販売手数料or手配手数料が収益
 - 旅行素材（ホテル、航空券、列車券、船券など）の手配
 - 単品手配、複数の組み合わせ手配
 - 業務渡航（出張手配、出張精算なども請け負うBTM）
 - 企画旅行の取消料ではカバーできない部分パッケージツアー
 - リバークルーズ、マスターズ観戦、ウィーン・フィルNYコンサート、宇宙旅行など
- 企画旅行 → 旅行会社が値付け（ネット+利益）
 - 募集型企画旅行
 - 単品のツアー → 「こだわりの宿」のパンフ販売（ホテル単品でもツアー）
 - スケルトンツアー → 航空券 + ホテル + （送迎）
 - フルペンション → FITフルパッケージ、添乗員付きバスツアーなど
 - 観光、体験、食事、宿泊、交通などすべて含む
 - 現地発着ツアー → 旅中コンテンツの造成・販売（足と枕なしなら非旅行）
 - 受注型企画旅行
 - 団体旅行（修学旅行、社員旅行、研修旅行、MICEなど）
 - 個人旅行（オーダーメイドツアー）

緑字 → OTAの領域、赤字 → 旅行会社の領域 赤字 → 高付加価値商品の領域

高付加価値の旅行商品の領域 1

【手配旅行】

企画旅行の取消料ではカバーできない旅行 → リバークルーズ、マスターズ観戦、ウィーン・フィルNYコンサート、宇宙旅行など

日本の旅行業約款は、出発の1か月前（ピークは40日前）からしか取消料が取れない。これでは、世界の価値あるコンテンツは募集型企画旅行として商品化できない。止む無く、旅行会社はリスクを避けるために手配旅行に分離したり、あえてリスクを抱えて募集型企画旅行で行っている。これは消費者にとっても機会損失であり、且つ、サービスの低下となっている。

《改善策》

募集型企画旅行の取消によってかかる約款以上の取消料の実額をエビデンスを示したうえで収受できる『募集型企画旅行の実額精算約款』を創設する。

既に受注型企画旅行では導入済み。旅行会社は、取消料で儲けたいわけではなくリスクを避けたいだけである。

高付加価値の旅行商品の領域 2

【募集型企画旅行（パッケージツアー）】

フルペンション

FITフルパッケージ、団体フルパッケージ、添乗員付きバスツアーなど
観光、体験、食事、宿泊、交通などすべて含む

観光型 → 観光地を巡る旅。添乗員付バスツアーなど

体験型（アドベンチャー系）→ 乗馬、トレッキングなど 趣味的体験

体験型（農業体験系）→ 1泊2日で農業体験など、少し深い体験

体験型（蕎麦打ち体験系）→ 1～2時間程度の、軽い体験

学び型（講師やインタープリター付）→ 室外カルチャースクール、スタ
ディーツアー、エコツアーなど

【募集型企画旅行（パッケージツアー）】

観光型 → 大手旅行のバスツアーの領域。

体験型（蕎麦打ち体験系）も観光型に付随している。

中小の旅行会社は、専門領域に特化し、深く詳しく本物を追及

①専門分野に特化する

体験型（アドベンチャー系）の中の乗馬、トレッキング、サイクリング、ダイビング、フィッシングなど

②学び型（講師やインタープリター付）に特化する

室外カルチャースクール、スタディーツアー、エコツアーなど

③世代（学生、年配者）や企業や大学などターゲットを絞り込む

中小は、小マーケットでも自社の有効な収益領域とすることが可能

高付加価値の旅行商品の領域 3

【現地発着ツアー（足と枕を含まなければ非旅行業）】

旅中コンテンツの造成・販売

街歩き観光、陶芸体験、野の花の名前を覚える教室、サイクリング、ラフティング、シーカヤック、トレッキング、ハイキングなど

- 街歩き観光 → 「まいまい京都」など
- ガイドが個人で実施 → 専門者は、沖縄、小笠原、知床など限定的
- 最近では、若いガイド、コンテンツ提供者が増えているが専門は少ない
- 旅行会社は、こうしたコンテンツ提供者を「観光業者」とし利用し、販売してコミッションを収受する。

着地型観光促進策として、第3種の旅行会社に募集型企画旅行が出来るようにしたり、地域限定第3種を創設したが、実際の着地型観光の担い手は、このコンテンツ提供者である「観光業者」たちである。

現地発着ツアーの高付加価値化のために

【現状】

半日から1日程度のオプションツアーが殆どで高額なツアーは少ない。その大きな原因はガイドの自家用車が使えないことにある。

(例) フィールドツアーをジャンボタクシーを6時間借りて5人のお客様で実施すると、タクシー代が約5万円。お客様一人当たり1万円。3日間の宿泊付きのツアーを作れば一人当たり3万円。実際には、6時間では終わらないのもっと高額になる。これではツアーが作れない。FIT化する中、ご夫婦や親子など2人というケースも多く、セダンやミニバンタクシーを使っても、更に一人当たりのコストは大きくなる。

【改善策】

観光業者と旅行会社が、観光のために使う車の登録制度を創設し、ツアーのスケジュールの中で車を自由に使えるようにして、ガソリン代等の必要経費をツアー代金の一部として収受できるようにする。これによって、宿泊を含んだ高付加価値商品の造成が可能になる。

国内旅行もインバウンドもFIT化が急激に進んでいるにもかかわらず、貸し切りバスを前提としたツアー造成では、FIT化に対応した高付加価値商品を作るのは難しい。今、インバウンド拡大の影響を受けて若いコンテンツ提要者が増えているが、兼業でしか生きていけないのが状況。専業として生きていける基盤を整備すべきである。

高付加価値の旅行商品造成をするために

- 自社のSWOT分析を試みる。強みや弱点を把握する
- どの人材のどんな得意技があるかを把握
- 領域を決める（何をどう売るかを定める）
- 誰に売るかを定める（インバウンド、旅行会社、個人客など）
- 地域密着型か全国区かの選択。ニッチなマーケットなら全国区
- 1点突破の先に広がりや展望を思い描く。
- 全ては、1人の集客から始まる。

企業の目的は顧客の創造(ドラッカー)

風の季節便 vol.17

国内ツアー特集

2021年秋～2022年夏



巻頭ツアー特集「島旅」

隠岐の島・対馬・屋久島・与那国島・宗像大島

風の旅行社 30周年 特別企画を発表！(3ページ掲載)

「国境の島」対馬の祈りと歴史を学ぶ



和多都美神社(海の鳥居)

写真提供:対馬観光物産協会



鳥帽子岳展望台



万関橋



異国に見える丘展望台

「国境の島」で日本文化の深淵に迫る

『古事記』の国生みの神話に登場する対馬は日本文化の原型が残る地です。と同時に「国境の島」として、3世紀の『魏志倭人伝』にも中国大陸、朝鮮半島と日本をつなぐ海上交通の要衝として記され、古来より中国大陸の文化や人の往来の通路でもありました。その悠久の歴史と文化の深淵に迫ります。

ツアーポイント

- ✓ 古代から日本と大陸の窓口として国の最前線だった対馬の歴史を歴史家の永留史彦さんが紐解きます
- ✓ 日本文化や神道の源流をたどり、和多都美神社、海神神社、阿麻氏留神社など神話や伝説の舞台を巡ります
- ✓ 唐・新羅の反撃に備えて築かれた金田城跡をハイキング
- ✓ あなご、海鮮、対州そばなど対馬の味覚もお楽しみください
- ✓ 秋の紅葉が美しいシーズンです

Tour Specialist



対馬の特別ガイド 永留 史彦さんが同行!

長崎県対馬市出身。歴史研究家。専門は神社、古代史、朝鮮半島と日本の外交関係史など。2016年から「対馬の自然と文化を守る会」会長。「東アジアの視点から対馬と日本を考える」交隣舎出版企画代表。対馬古文書研究会会員。「対馬観光ガイドの会やんこも」(副会長)としても、対馬の魅力幅広く紹介している。

2021年11月20日(土) 出発

集合・解散 福岡空港

ご旅行代金 178,000円(税込)

1日目 福岡空港 → 対馬空港 → 比田勝

午前: 福岡空港集合。国内線で対馬空港へ。

大船越(おおふなこし)で幕末ロシア軍艦ボサドニック号が対馬の芋崎を不法占拠した際に遭難した松村安五郎・吉野数之介の記念碑、日露戦争直前に掘削された万関橋(まんげきばし)を見学。

午後: 竜宮伝説が残り、海中に建つ鳥居が印象的な和多都美(わたつみ)神社を参拝。その後、典型的なリアス式海岸である浅茅湾(あそうわん)を一望する鳥帽子岳展望台へ。その後、対馬国一之宮である木坂・海神神社を見学。夕刻に比田勝着。

☎ ホテル泊 ㊟ ㊞ ㊟

2日目 対馬(比田勝 → 厳原)

午前: 弥生時代の広形銅矛を出土した石棺墓群がある塔の首遺跡、「日口友好の丘」、天気の良い日は釜山のビル群も見える鱈浦・韓国展望台、詔官使の遭難碑、塔の首遺跡出土の青銅矛が収蔵されている上対馬町郷土資料室を訪ねます。その後、謎の石塔がそびえる五根緒(ごねお)へ。昼食は佐須奈のそば道場で対州そばをいただきます。



対州そば

午後: 古代、新羅の侵襲に備えて防人が常駐したとされる千俵崎(せんびょうまき)山へ。その後、社殿も鳥居もない原始神道の様式が残る天神多久都魂(あまのたくずだま)神社へ。貴重な資料が展示される峰町歴史民俗資料館、一時は島府がおかれ宗家の菩提寺であった円通寺などを訪ねます。

☎ ホテル泊 ㊟ ㊞ ㊟

3日目 対馬(厳原 → 金田城 → 厳原)

午前: 住吉神社、小船越、西漕出(にしのこいで)、阿麻氏留(アマテル)神社、ネソ古墳群などを訪ねます。

午後: 唐・新羅の反撃に備えて建てられた当時の国防の最前線だった金田城(かなたのき/かねだじょう)の山頂までハイキング(約3時間)

夕刻: 厳原・八幡宮神社を訪ねます。

☎ ホテル泊 ㊟ ㊞ ㊟



金田城 山頂から

4日目 厳原 → 対馬空港 → 福岡空港

午前: 天道信仰の聖地・多久都魂神社と高御魂(たかみむすび)神社を訪れた後、ぐるっと270度の水平線が見られる豆敷崎(つつき)展望台、美女塚へ。その後、厳原に戻り宗家の菩提寺で歴代藩主の墓所がある万松院(ばんしょういん)へ。



万松院 百雁木

午後: 1274年の文永の役でモンゴル兵を迎え撃ち全滅した小茂田浜(および小茂田浜)神社、戦死した宗資国のお塚などを訪ねます。

夕刻: 対馬空港から国内線で福岡空港へ。

㊟ ㊞ ㊟

■ 最少催行人員: 8名(定員15名) ■ 添乗員: 同行

■ 利用予定航空会社: 全日空、オリエンタルブリッジ

■ 利用予定バス会社: (株)ジェイアイランド

■ 利用予定宿泊施設: 【比田勝】東横イン対馬、テマド・ホテル 【仁位】ビジネスホテルつたや 【厳原】ホテル・ベルフォーレ、つたやホテル(いずれも2名1室利用)

■ ご旅行代金に含まれないもの: 国内線旅客施設使用料(福岡空港発着各110円)

■ 一人部屋追加代金: 7500円

* 現地ガイドは対馬空港から対馬空港まで同行します。

* より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

☑ 歩行レベル: 1 (歩行時間3時間以内 上り下り標高差700m程度)

写真提供: 長崎県観光連盟 (★マーク)

与那国馬の背に乗って風になる



背後には美しい八重山の海



島全体を見渡す天上の草原をゆく

「日本最西端の島」与那国島で、在来種のヨナグニウマにまたがったの騎馬トレッキングを楽しみます。

ヨナグニウマとは、日本在来8種の1つで、与那国島で古くから農耕や荷物の運搬、乗用などに用いられてきました。

日本最西端の島に生息していたため他の品種との交雑を免れ、その血統がしっかりと保たれてきました。

与那国島は東京からは直線距離で約2000km、沖縄本島から約500km、石垣島からでも127kmも離れているのに対して、台湾まではわずか111km。小さな島であるにもかかわらず、200m級の山があるなど地形は起伏に富み、砂浜、熱帯のジャングルやモンゴルを思わせる草原など様々なロケーションでの乗馬が楽しめます。



ブラッシングで馬と仲良くなりましょう

未経験者以上	中級者以上	
2022年 4月8日(金) 出発	2022年 4月22日(金) 出発	集合・解散 羽田空港
2022年 5月13日(日) 出発	2022年 5月27日(金) 出発	ご旅行代金 255,000円(税込)

1日目 羽田空港 → 乗り継ぎ(那覇または石垣) → 与那国島

午後: 羽田空港を出発。那覇または石垣島などで乗り継いで与那国島空港へ。
夕刻: ホテルの車が空港にお迎えに上がります。 ☾ 民宿泊 ㊦㊧㊨㊩

2日目 与那国島

終日: 乗馬ツアー。
午前: 注意事項の確認などの後、足慣らしに「コトーの浜」へ。(約1時間半)
午後: 山の上にある「天上の草原」へ。(約3時間半)
(昼食は牧場近くの食堂などで各自でお取りください)

☾ 民宿泊 ㊦朝㊧夕



お昼に八重山そばはいかが?(各自払い)

3日目 与那国島

終日: 乗馬ツアー。
午前: 亜熱帯のジャングルを騎馬トレッキング。(約3時間)
午後: モンゴルを彷彿させる「与那国のモンゴル」草原へ(約3時間)
(昼食は牧場近くの食堂などで各自でお取りください)

☾ 民宿泊 ㊦朝㊧夕



与那国のジャングルを馬で行く

4日目 与那国島

終日: フリータイム。各自、レンタルサイクルやレンタカーでの島内散策、シュノーケリングなどお楽しみください。

※希望者は引き続き乗馬をお楽しみください(要事前予約、要追加料金)。

☾ 民宿泊 ㊦朝㊧㊨㊩

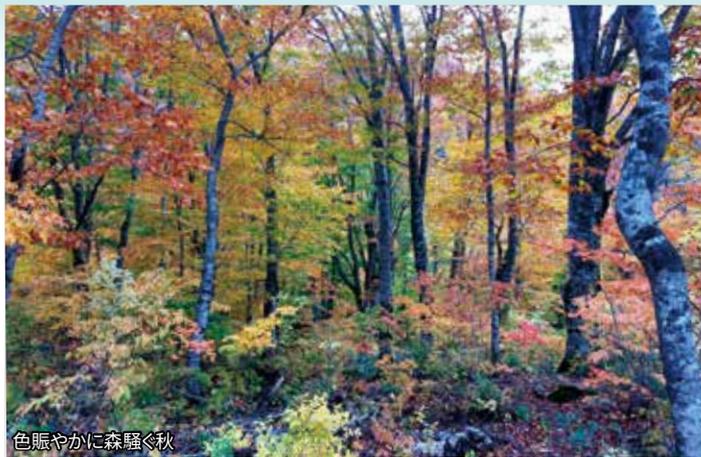
5日目 与那国島 → 乗り継ぎ(那覇、石垣など) → 羽田空港

午前: ホテルから与那国空港へ。那覇、石垣などで乗り換えて空路羽田空港へ。
午後: 羽田空港到着。 ☾ 民宿泊 ㊦朝㊧㊨㊩

- 最少催行人員: 5名(定員6名)
 - 添乗員: 同行
 - 利用予定航空会社: 日本航空、日本トランスオーシャン航空、琉球エアコミューター
 - ご旅行代金に含まれないもの: 国内線旅客施設使用料(羽田空港発着各290円)、フリータイムの日の乗馬・観光費用
 - 利用予定ホテル: エデンの幸(2名1室利用)
 - 一人部屋追加代金: 12,000円
- * より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

* 「乗馬について」および乗馬プログラム担当を担当する「与那国馬風牧場」についてはP9をご参照ください。

おらど一緒に秋の秋田で鍋っこ遠足だ！



色賑やかに森騒ぐ秋



秋のブナの森で鍋っこ遠足



野外で出来立ての秋田料理を堪能します！

秋田観光大使(自称)・嶋田が心を込めて案内します

私(嶋田)の生まれ故郷、秋田の旨いもの、美しい自然、ヒト、など秋の秋田の魅力を味わう旅です。

今回は、県北の端っこ秋田白神地域から県南端っこ鳥海山まで、秋田県を南北に大縦断します。

途中、秋田内陸縦貫鉄道も利用して鉄道旅も楽しめます。車窓から眺めるマタギ文化が色濃く香る阿仁地域の山深い秋の風景、雄大な鳥海山(2,236m)の裾野に広がる田園風景(芭蕉が句を詠んだ)、鳥海山展望台(五合目)から眺める日本海、など多彩な景色とそれぞれの里の暮らしの違いを感じてほしいと思い企画しました。

もちろん、食の楽しみも忘れていません！ 秋田県人のソウルイベント(心の行事)である「鍋っこ遠足」も体験していただきます。野外で食べる秋田の秋の味覚を白神のブナに囲まれながらおおいに満喫しましょう。

さて、何が恩返しかと言いますと、コロナ禍の中、こうしてなんとか凌いでいられるのも、かつてのお客様やツアー現場を支えてくれた観光業の仲間のおかげであるということをつくづく感じるようになりました。そしてワタシを育んでくれた秋田への思いも募り続けています。

お客様、仕事を支えてくれた仲間、故郷の秋田に感謝すると共に微力ながら恩返しをさせていただく旅にしたいと考え、企画しました。

皆さまと一緒に秋田を楽しみ、味わうことを楽しみにしております。ご参加お待ちしております。

嶋田京一

2021年10月22日(金) 出発

集合 大館能代空港 解散 JR秋田駅

ご旅行代金 89,700円(税込)

1日目 大館能代空港 岳岱の森 藤里市

【秋の味覚満喫 なべっこ遠足でざりたんぼ】

10:20: 大館能代空港集合。

岳岱の森をゆるやかに散策。

ここで、秋田県人なら誰でも知っている秋の名物行事「鍋っこ遠足」よろしく森の中で名物ざりたんぼ鍋を楽しみます。(歩行: 約1時間半)

黄葉のブナの森でゆっくり過ごした後、宿へ。



☾ 旅館泊 ☹ ☒ ☕ ☎

2日目 藤里町 鷹巣駅 角館駅 鳥海山鉢立展望台(五合目) にかほ市

【秋田の北から南へ大縦断】

午前: 宿から鷹巣駅へ。内陸縦貫鉄道で角館へ。マタギ文化の色濃く残る森吉、阿仁を通過。車窓から秋の山深い紅葉をお楽しみください。

到着後、みちのくの小京都「角館(かくののだて)」を散策。

午後: 車で県南へ。山形県との県境かつ海側にそびえる鳥海山(2,236m)へ。途中、湯沢を通過。時間の許す限り、途中下車しながらいるたしかめながら移動します。

夕刻、鳥海山鉢立展望台(5合目)より日本海に沈む夕日を展望。※晴れることを祈りましょう。



マタギの里を走る(秋田内陸縦貫鉄道)

夜: 宿へ。 ☾ 旅館泊 ☹ ☒ ☕ ☎

3日目 にかほ市 秋田駅

【日本海沿いに北上】

午前: 鳥海自然休養林(中島台)へ。ブナ林を散策。異形ブナでは日本最大級の「あがりこ大王」や巨大なコケの群生体「鳥海マリモ」を見ます。その後、象潟で芭蕉の句で有名な「蛸満寺」を拝観後、日本海沿い秋田市へ向います。

途中、松本清張著「砂の器」に登場する羽後亀田に立寄り、作品の残り香をさがしてみます。

その後、知る人ぞ知る「秋田国際ダリア園」を見学。

16時、JR秋田駅にて解散。

☹ ☒ ☕ ☎

☑ 歩行レベル: 1 (歩行時間3時間以内 上り下り標高差700m程度)

- 最少催行人員: 8名(定員12名)
 - 添乗員: 同行 (株)風カルチャークラブの嶋田京一が同行します
 - ご旅行代金に含まれないもの: 日程表に記載のないサービス
 - 一人部屋追加代金: お問い合わせください
 - 利用予定宿泊施設: ゆとりあ藤里、鳥海荘(※いずれも3~4名男女別相部屋)
- * より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

Tour Specialist



嶋田京一さんが同行!

1970年秋田県生まれ。風の旅行社OB。株式会社風カルチャークラブ代表取締役。2015年株式会社風カルチャークラブを別会社化。2017年訪日外国人向け東京都心サイクリングツアーブランド「訪日外国人向け東京都心サイクリングツアー」開始。2019年6月より風カルチャークラブブランドの日本人向け国内外旅行・講座の取扱いを株式会社風の旅行社に移行し、インバウンド事業(訪日外国人向けサイクリングツアー)に専念、現在に至る。前向きさだけが唯一の取り得なので、後ろ向きなときは声をかけてください、振り向きませう。

地元目線でちょっぴり深く楽しむ鎌倉



北条政子にまつわるエピソードを持つ衣張山からの眺望



ひっそりと佇む鎌足神社は鎌倉の名前の由来の一つともなっている

鎌倉生まれ育ちの添乗員・山田がガイドとなって、個人的に好きすぎるイチ推しスポットだけを巡るツアーを企画！ これまでも、弊社の鎌倉自転車ツアー（丹羽隆志さん同行）や、フリーライターであり風カルチャークラブ講師の眞鍋じゅんこさんの鎌倉記事のサポートをさせていただきました。きっと、皆さんが知らない鎌倉の一面をご案内できるかと思えます。

諸事情あって文章としていろいろ書くことはできないのですが、所々で地元っ子の強みを活かしたゲストも登場し、特別解説ありでちょっぴり踏み込んで楽しめる内容になっています。

鎌倉は（特に関東近郊にお住まいの方は）日帰りすることが多いと思いますが、由比ヶ浜には建物の一部が有形文化財ともなっている老舗割烹旅館（「かいひん荘鎌倉」）があります。

しっかり足を使って観光した後はおいしい食事を食べてのんびり過ごす。そんな当たり前の旅行のような贅沢な時間を楽しんでいただけたら幸いです。



「かいひん荘鎌倉」外観



お食事（イメージ）

2021年12月1日（水）出発

集合 JR北鎌倉駅

解散 江ノ島電鉄 長谷駅

2022年 3月2日（水）出発

ご旅行代金 36,000円（税込）

1日目 北鎌倉駅 建長寺 覚園寺 浄妙寺 由比ガ浜

09:00: JR北鎌倉駅集合。歩いて鎌倉五山第1位の建長寺へ。和尚さんに境内を案内していただきます。

観光後、道路状況を見て歩きまたは路線バスまたはタクシーで覚園寺へ。鎌倉で一番、鎌倉らしさのあるお寺（山田調べ）で御本尊の薬師如来様をお参りします。12月は紅葉、3月は梅花が楽しめます。

その後、あちこち立ち寄りながら鎌倉五山第5位の稲荷山浄妙寺へ。（徒歩＝約20分）山号である稲荷山の麓にあり鎌倉の名前の由来の一つとされる小さな祠にも立ち寄ります。



覚園寺の紅葉（イメージ）



鎌倉五山第5位、稲荷山浄妙寺

午後：浄妙寺観光後、頼朝の妻、北条政子にまつわる逸話がその名の由来となっている衣張山へ。山頂からの眺望は個人的に鎌倉No.1。鎌倉独特の地形（谷戸）もよくわかります。（ハイキング＝約60分）お昼は山田イチオシの地元の名店弁当をチョイスします。

夕方：公共交通機関を利用して宿泊先の旅館、かいひん荘鎌倉へ。夕食は懐石料理をお楽しみください。

●旅館泊 ㊟㊞㊟㊟

2日目 由比ガ浜 長谷寺 長谷駅

09:30: 朝食後、由比ヶ浜に出てから様々な媒体（ドラマや映画、アニメ等）の舞台となっている極楽寺や御霊神社などの映えスポットや、個性的で良質の商品を取り揃えている商店などを経由して、歩いて長谷寺へ。

季節ごとに見所はありますが秋は境内の紅葉が見事。観音堂に安置されている日本最大級の木造観音、十一面観世音菩薩を拝観します。

観光後、長谷駅にて解散。

㊟朝㊟㊟

☑ 歩行レベル：1（歩行時間3時間以内 上り下り標高差700m程度）

■ 最少催行人員：6名（定員8名）

■ 添乗員：同行

■ 利用予定宿泊施設：かいひん荘鎌倉（1部屋2～3名宿泊可能）

■ 一人部屋追加代金：8,500円

■ ご旅行代金に含まれないもの：路線バス、タクシー代金、拝観料

* ツアー中高低差150m前後の登山道を歩くハイキングを含みます。また、歩行時間の多いツアーですので歩きやすい靴でご参加ください。

* 自家用車でご参加の場合、宿泊予定の旅館に車を停めてから北鎌倉駅にて集合することも可能です。必ず弊社担当・山田まで事前にお知らせください。

* より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

Tour Specialist



風の旅行社 山田 基広が同行！

おもにモンゴル・乗馬ツアーを担当。旅する子煩悩。乗馬大好き。山登り大好き。自転車大好き。海遊び大好き。と、一たび外に飛び出せば無限に広がるフィールドにあふれる興味と好奇心が暴走してとまりません。普段は控えさえているこの気持ちは添乗に出たときに爆発します。ご注意ください。

神秘の山・巨樹の森へ - 富山県魚津市 -



奇跡の海、富山湾。

わずか20~30kmの短い距離を2,500~3000mの落差を流れ切り、海へと注ぐ急流。目には見えぬ伏流が、平野部湾岸部のみならず、海中においても湧き出ているといえます。

その海は、水深1000mまで沈む込み、多様な命を育む環境を生み出しています。こうした自然環境が、魚津において「三大奇観」と称される奇跡を見せてくれているのです。

そんな奇跡の海を育てているのが、霊峰連なる立山連峰です。立山連峰北部に位置する毛勝三山。そこを源とする片貝川は、日本有数の急流河川で、魚津市を水源とし、魚津の海へと流れ入る水循環遺産の根幹をなす清流です。その片貝川の遙か上流に、神秘的な巨樹の森が息づいているのです。

その巨樹の名は「洞杉(どうすぎ)」。片貝川の上流南又谷一帯(標高500~700m)に、樹齢500年以上とも推定される天然スギが群生しています。最大のものは幹回り15mを越えるという巨大杉たちは、厳しい風土に耐えて生き抜く中、杉たちは根元からたくさん枝分かれし、幹が空洞状で、洞杉の名の由来となっています。洞杉たちの多くは、巨大な石を強い意志で掴み抱える姿をしていて、その特異な光景は深く記憶にとどまることでしょう。

このプログラムは、魚津埋没林博物館の協力のもと、秋の片貝川沿いのトレッキングと植物観察を楽しみながら、神秘の山・巨樹「洞杉」の森を目指します。

Tour Specialist

石須 秀知さんが同行!

特別天然記念物 魚津埋没林博物館 館長(専門分野:植物学) 富山市在住。1992年4月特別天然記念物 魚津埋没林博物館に勤務(学芸員)。2020年4月同館・館長魚津市の植物相を中心に研究しつつ、異分野の蜃気楼も部分的に担当。植物以外の生物や、地形、地質、水循環系、大気現象なども興味の対象。趣味は「むやみな」散歩、蜃気楼グッズ収集、石拾いなど。

2021年11月13日(土) 出発

集合・解散 あいの風とやま鉄道 魚津駅

ご旅行代金 42,800円(税込)

1日目 魚津駅 魚津埋没林博物館 魚津駅

午後(12:40頃):あいの風とやま鉄道魚津駅前集合。ホテルに荷物を預け、近くの食堂にて昼食。

昼食後、車にて魚津埋没林博物館へ。学芸員による解説を受けます。見学後、海岸線を散策。

※旧魚津町付近 湧水「てんこ水」:川底から湧き出ている清水(片貝川の地下水)。市民の生活飲料水として、主婦の交流の場として活用されてきた。(ここでの井戸端会議が米騒動の始まりとも言われている)

魚津到着後、ホテルにチェックイン。夕刻:魚津の美味しい魚料理を堪能します。

夕餉の会終了後、ホテルへ戻ります。



博物館外観(魚津埋没林博物館提供)



水中保存樹根(魚津埋没林博物館提供)

☎ホテル泊 ㊦㊧㊨㊩

2日目 魚津駅 片貝川南又谷駐車場 洞杉群 魚津駅

午前(8:30):ホテルチェックアウト。※大きな荷物はホテルに預けます。車にて片貝川南又谷駐車場へ。

到着後、洞杉群をめざしトレッキングと自然観察。(往復:約5km 歩行時間:約2.5時間)※往復歩かなくても、復路は洞杉群の広場でのピックアップもできます。

峡谷の景観や道路沿いに現れる洞杉群や片貝峡の生態系の解説を聞きながら歩きます。魚津の海の恵みを育む清流の一端を見学します。

午後:車にて魚津駅へ。魚津駅そばのお店にて昼食。

14:00頃:魚津駅にて解散。

㊦朝 ㊧昼 ㊨夕

☑ 歩行レベル:1 (歩行時間3時間以内 上り下り標高差700m程度)

■ 最少催行人員:4名(定員10名)

■ 一人部屋追加代金:ご旅行代金に含む

■ 添乗員:同行なし

■ 利用予定宿泊施設:魚津マンテンホテル駅前

*ご家族等でツインルーム等をご希望の場合はお問い合わせください。但し、ご希望に沿えない場合もあります。

*より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

【協賛】魚津市 【コーディネート】魚津交通株式会社

※エコツアープロデューサーの澤井俊哉さんも同行します。



【風の女子旅】南砺に染まる3日間



のどかな五箇山相倉集落を散策し、宿泊します



木くずを使った燻製料理など、香りも楽しめるBed and Craftでの夕食一例



手拭いや綿のスカーフを染めて持ち帰ることができます



木彫り職人のまち・井波



希望される方は木彫り職人に弟子入りできるワークショップもお勧めです

こんな大人の合宿があったらいいな、を形にしてみました

今回の旅の舞台は、富山県南砺市。「生きた世界遺産」と呼ばれる五箇山等、日本の原風景と古き良き伝統文化が色濃く残る場所です。

旅の前半は、相倉合掌造り集落の宿に泊まり、囲炉裏を囲み、郷土料理を味わいながら、山村の自然とともにある暮らしぶりに触れてみましょう。翌日は、菅沼合掌造り集落へ移動し、合掌の里の自然公園でその季節の草木を採取して、草木染め体験を楽しみます。

旅の後半には、富山の伝統工芸のまち「井波」にも足を運びます。井波は、約250年の歴史をもつ「木彫りのまち」。まちを歩けばどこかこから木彫りの槌の音が聞こえてきます。そんな、ものづくりのまち井波では、職人ともものづくりをテーマにした宿・Bed and Craftに宿泊。

宿泊する宿はいずれも一棟貸しの趣ある建物で、個室対応はできませんが、添乗員同行で和気藹々楽しめる女性限定の旅。風の女子旅は年齢制限なしで1人参加の方がほとんどですので、安心してご参加ください。

- 最少催行人員：6名（定員8名） ■ 添乗員：同行（添乗予定スタッフ：平山未来）
- 利用予定宿泊施設：【五箇山（相倉）】与茂四郎 【井波】ベッド・アンド・クラフト
- 一人部屋追加料金：設定なし
- ご旅行代金に含まれないもの：昼食代、木彫りスプーン作り
- * 草木染めは参加者全員が同じ植物で染めます。
- * 雨天の場合、植物採取は取りやめとなり、染め作業のみとなります。
- * 木彫りスプーン作りが定員に達した場合は別のプログラムを調整いたします。
- * 女性限定ツアーです。
- * 日程表に食事マークの記載がない場合は各自負担となります。
- * より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

2022年5月19日（木）出発

集合 JR新高岡駅 解散 JR金沢駅

ご旅行代金 89,000円（税込）

1日目 JR新高岡駅 五箇山・相倉

午後：（13:15頃）JR新高岡駅集合。（北陸新幹線停車駅）。その後、世界遺産バスに乗り、五箇山の相倉口へ。（乗車＝約1時間）ローカルガイドさんと合流し、相倉合掌作り集落をおさんぽ（徒歩＝約1時間）。まるでタイムスリップしたような、のどかな原風景と、昔ながらの山里の自然とともにある暮らしを感じることができましょう。



アットホームな雰囲気でお寛げる合掌民宿に泊まります

夕刻：茅葺き屋根の歴史ある合掌作りの宿にチェックイン。

夜：囲炉裏を囲み、五箇山の自然の恵みを感じる郷土料理の夕食をお楽しみください。 民宿泊 11,000円（税込）

2日目 五箇山・相倉 五箇山・菅沼 城端駅 井波

午前：宿にて朝食後、9時チェックアウト。世界遺産バスに乗り、相倉から菅沼集落へ移動。（乗車＝約15分）合掌の里にて草木染め体験。女性講師の池田さんのご指導のもと、自然公園で植物を採取した後、手拭いやスカーフを自然の色合いに染めてみましょう。（体験＝約2時間半）



天然の植物で染めた色はやさしい色合い

午後：ワークショップ終了後、徒歩で菅沼集落へ移動し、昼食（※各自払い）。その後、世界遺産バスとタクシーを乗り継いで城端駅を経由し、井波まで移動。（乗車＝約1時間）到着後、風のOG中臺さんのご案内で井波のまちを散策していきましょう。（徒歩＝約1時間半）



一棟貸しなのでグループ貸切でゆったりと寛げます

夕刻：古民家を改装し、井波の町中に点在するBed and Craftにチェックイン。各棟ごとに異なる内装や宿泊者のみが見学できるアート作品に触れられる、個性的な宿での滞在をお楽しみください。夜：別棟のラウンジにて夕食。木彫り職人が削った木で燻製した料理など、井波ならではの食をご賞味ください。 旅館泊 11,000円（税込）

3日目 井波 金沢駅

午前：宿にて特製ボックスの朝食をご用意いたします。9時までに宿をチェックアウトし、半日フリータイム。中臺さんご希望に合わせてお勧めスポットを伝授してくれます。また、ご希望の方は職人に弟子入りするワークショップ体験（木彫りのスプーン作り）も可能です。（事前申込・別途費用・所用約3時間）



朝食は特製ボックスが届きます

午後：各自昼食をとった後、加越能バスにて金沢駅へ。（乗車＝約1時間20分）

14:35頃：金沢駅（西口）着後、解散。

11,000円（税込）

Tour Specialist



なかだい みやこ
井波の案内人 中臺 雅子さんが同行！

京都府出身。海外旅行好きが高じて、南米ペルーに4年在住し、風の提携先でもあるクスコの現地旅行会社に勤務。帰国後、ペルーを主とした南米方面の企画担当として風の旅行社（東京本社）で5年間働いた後、日本の田舎に残る伝統文化や四季と共にある暮らしに魅せられ、2015年に富山県南砺市に移住。南砺市観光協会での仕事（地元の方々を作りあげる着地型ツアーの造成や現地ガイドも兼務）を経て、現在はものづくりのまち井波で、職人をテーマにした宿泊施設Bed and Craftのマネージャー、アクティビティの企画を担当。最近では手仕事に興味を持ち、金継ぎをやっています。四季の食材が豊富な南砺は季節ごとの食の手仕事も多く、田舎暮らしは休みもなんだか忙しい。

～信州上田・別所温泉で学ぶ～

ひやくやく

百薬の世界



森のくすり塾 (秋)



森のくすり塾室内



森のくすり塾と小川さん



ソバの花

身近な薬草、中国の生薬、和漢薬、インド、チベット、西洋薬まで。いざ、百薬を巡る旅へ！

～小川さんより～

その名のとおり百種類の薬を解説します。ゲンノショウコ、ドクダミなど身近な薬草から、大黄、甘草、麻黄など中国産の生薬、そして陀羅尼助や反魂丹など日本各地に伝わる和漢薬。ナツメグ、シナモンなどインド産のスパイス、青いケシなどヒマラヤの薬草と、チベット医学の丸薬、また白柳に由来するアスピリンなど西洋薬も百薬の仲間に入れるとおおよそ百種類に到達します。

見て、触って、嗅いで、味わい、そして講釈に耳を傾けながら百薬の世界を御堪能ください。

2021年

9月14日(火) 9月28日(火)
10月12日(火) 10月26日(火)
11月16日(火) 11月30日(火)
12月14日(火)

集合・解散

上田電鉄 別所温泉駅

ご旅行代金

37,500円(税込)

2021年

8月28日(土) 9月11日(土)
9月25日(土) 10月2日(土)
10月23日(土) 11月6日(土)
11月20日(土) 12月4日(土)
12月11日(土) 12月18日(土) 出発

集合・解散

上田電鉄 別所温泉駅

ご旅行代金

39,500円(税込)

1日目 別所温泉駅 旅館 野倉の森のくすり塾 旅館

13:00頃：上田電鉄別所線・別所温泉駅に集合。(各自昼食を済ませてご集合ください。)小川さんと一緒に宿泊先の旅館へ。荷物を宿に預けて、車にて森のくすり塾へ。

夕刻まで：室内で百薬講座前半。

終了後、車にて宿へ。夕食と温泉をお楽しみください。

●旅館泊 ㊦㊧㊨

2日目 旅館 野倉の森のくすり塾 旅館 別所温泉駅

午前(9:00)：旅館のロビーに集合。

車にて森のくすり塾へ。

到着後、百薬講座後半。

終了後、別所温泉のやさしいお弁当を薬房で食べます。

※午前中の講座は、天候に応じて屋外散策と室内講座を交えることがあります。

午後：車にて別所温泉へ。(天候に恵まれた場合、ご希望の方は山道を散策しながら別所温泉へ下ります。約30分)

15:00頃：別所温泉駅にて解散。

㊦朝昼



お弁当(イメージ)

■ 最少催行人員：3名(定員6名)

■ 一人部屋追加代金：3,000円

■ 添乗員：同行なし

■ 利用予定宿泊施設：南條旅館、齋藤旅館

* ご夫婦での個室利用、及び一人部屋希望の場合はお問合せください。

* より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

Tour Specialist



東洋と西洋の医学を薬学で結ぶ情熱の薬剤師

小川 康さんが同行！

富山県出身。1970年生まれ。「森のくすり塾」主宰。東北大学薬学部卒。薬剤師。元長野県自然観察インストラクター。薬草会社、薬局、農場、ボランティア団体などに勤務後、1999年1月よりインド・ダラムサラにてチベット

語・医学の勉強に取り組む。2001年5月、メンツィカン(チベット医学暦法科大学)にチベット圏以外の外国人としては初めて合格し、2007年卒業。晴れてチベット医(アムチ)となる。チベットの歌や踊りにも造詣が深い。2009年7月小諸に富山の配置薬を扱う「小川アムチ薬房」開店。(現在は「森のくすり塾」に改称、長野県上田市野倉に移転、開業)2015年3月、早稲田大学文学学術院を卒業。修士論文のテーマは「薬教育に関する総合的研究」著書：『僕は日本でたったひとりのチベット医になった ヒマラヤの薬草が教えてくれたこと』(径書房)『チベット、薬草の旅』(森のくすり出版)

『チベット医・アムチ小川の「ヒマラヤの宝探し」』を風の旅行社社サイト内で連載中。

高野山の森を学ぶ



カツラの巨木



ハンモックでリラックス



木の洞から顔を出すムササビ



コウヤマキの森

今からおよそ1200年前、弘法大師空海によって開かれた高野山。この地で、多くの先徳によって守り繋がられてきた高野山の森林。奥ノ院と摩尼山周辺の和歌山県指定の保全上重要な植物環境エリアを巨樹と植物を中心に、ゆっくりと時間をかけて巡る講座です。

千年続く森と時代により移り変わってきた森を、山林の専門家からお話を聞きながら高野山独自の自然に触れていただきます。森を守ることは(いのち)を循環させること、です。

この講座は二日間を通して、高野山の植物や樹木、鳥、動物などを観察しながら、人工の森(ゲンジの森)と、人の手の入らない自然の森を対比して、高野山独自の生物と共存していく森のつくり方や、現状の問題点など大切なポイントを解説いただき、実際に森を整備するための間伐体験をします。

※この講座は高野山寺領森林組合の協力で、2015年に初めてこのエリアの観察ツアーが実施可能になりました。

Tour Specialist



高野山寺領森林組合 西田 安則さんが同行!

1958年生まれ。東京農業大学卒。1980年、宗教法人金剛峯寺山林部入社。2010年寺領森林組合、現在に至る。日本野鳥の会会員、高野山めざめの森実行委員会(森林セラピー)認定・森林ガイド。

2021年11月20日(土) 出発

集合・解散 高野山・熊谷寺

ご旅行代金 39,800円(税込)

1日目 熊谷寺 ● ゲンジの森 ● 熊谷寺

午後(13:30頃):宿坊・熊谷寺に集合。集合後、一の橋で西田さんと合流します。

徒歩にて、スキー場、森林公園を経由し**ゲンジの森**へ。

ゲンジの森にて、**森林間伐体験**。

終了後、宿坊・熊谷寺へ。

夕食後、**西田さんの解説で“夜の森の観察”**。

※年々訪れる人が多く、ムササビの観察が難しくなっています。シカの叫び声を聞くことができればいいですね。またこの時期は晴れば美しい星空も満喫できる季節です(西田さん談)。その後、熊谷寺に戻ります。

● 宿坊泊



森林間伐体験

2日目 熊谷寺 ● 森林学習展示館 ● 摩尼山 ● 森林組合の山小屋 ● 熊谷寺

早朝:ご希望の方は朝のお勤め、**護摩焚き**に参加します。

午前:徒歩にて、**一の橋～奥ノ院～摩尼山に登り**、森林組合の山小屋へ。

山小屋にて**昼食**。昼食後に**西田さんより、高野山の森についてのお話を伺います**。

午後:**ハンモック、お茶、森呼吸などのリラックスを体験**してください。その後、山小屋より三本杉に向かい、タクシーにて熊谷寺に戻ります。

15:00頃:熊谷寺にて解散。



昼食(イメージ)

- 最少催行人員:6名(定員10名)
- 添乗員:同行なし。定員(10名)に達した場合、添乗員が同行します。
- 利用予定宿泊施設:宿坊・熊谷寺
- 一人部屋追加代金:設定なし
- * 宿坊のお部屋の利用は原則として男女別の相部屋(3~4名)となります。
- * 講師の西田さんから植物や樹木、鳥、動物の観察や解説も聞くことができる講座ですが、見ることができない場合もありますのでご了承ください。
- * 雨具は必ずご持参下さい。また踏み跡の無い山道も歩きますので、滑りにくい軽登山靴などでご参加ください。
- * より詳しい条件は「ご旅行条件抜粋」(P43)をご覧ください。

☑ 歩行レベル: **1** (歩行時間3時間以内 上り下り標高差700m程度)

～講師の西田さんより～

聖地高野山では、江戸時代より高野六木(こうやろくぼく)を保護育成してきた歴史があります。その施業体系が2020年「聖地・高野山と有田川を結ぶ持続的農林業システム」として日本農業遺産として登録されました。その高野山奥の院近くにゲンジの森があります。高野山ではミヤマクワガタの雄の事をゲンジ、雌の事をヘイケと呼んでいます。ゲンジの森は、ゲンジを捕る子供達の虫捕り文化を残すために、スギ、ヒノキの人工林を生き物の豊富な自然に近い森を作るために、森林整備を行っています。